

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 6 年 3 月 1 日

事業所名 こどもサポートセンター すてーじ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	0	・最低限の活動が出来るスペースを確保し、活動や状況に合わせて活動を行っています。	・定員に達する日もあり、利用児童数や、年齢差に狭さを感じる場合もあります。室内では、パーティションで部屋を区切り、集中できる場を提供したり、時間差で戸外活動と室内活動を入れ替わるなど工夫していきます。
	2	職員の配置数は適切である	8	1	・十分とは言えない時もあります。その日の利用人数に合わせて支援ができる職員を配置しています。	・基準の支援員は確保していますが、個別支援に充足するための職員は不足していると感じます。曜日によっては、障害特性も違っていることや、学校への送迎時には、職員が手薄になることもあるので、引き続き、職員募集や、学校のお迎え時間が近い時は、他校を周り迎えに行くなど考慮、工夫していきます。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	9	0	・車いすを利用している方でも入りやすいように、スロープを設置しており、段差がないようにしています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	9	0	・日々のミーティングで活動に対する報告、相談や、業務改善の意見を出し合い、決定目標・取り組みには職員全員の共通認識を心掛けています。	・ミーティングや会議でより積極的に意見を出し合い、業務改善に繋がられるように取り組みたいと思います。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	0	・保護者からのご要望やご意見を業務改善及び、活動プログラム策定に役立てています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	0	・ホームページ及び印刷物を配布し、施設玄関に掲示し公開しています。	<a href="http://stage-ube.com/stage/">http://stage-ube.com/stage/</a>
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	9	0	・第三者委員を設置し、面談、電話等で評価助言をいただいております。	・寄せられた当事業所へのご意見やご要望については、その都度検討し、業務の改善に取り組んでいきます。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9	0	・研修開催の情報収集をし、参加することで職員の資質向上に努めています。	・研修会で得た情報を職員間で共有し、職員全員の資質向上に努めていきたいと思っています。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9	0	・保護者様より希望や課題を確認し、支援員からの意見の取り入れ、相談支援員からのサービス利用計画を確認後、個別支援計画の原案を作成しています。	・利用開始前に施設見学や体験利用を行っていただいています。その際にお子さまの状態や、保護者様の意向把握を行って、支援計画に反映しています。障害の程度や内容が大きく異なる為、アセスメントツールの標準化には至っていません。他事業所が、どのようなアセスメントツールを使用しているのか情報収集し、検討していきたいと思っています。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 6 年 3 月 1 日

事業所名 こどもサポートセンター すてーじ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
適切な 支援の 提供	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9	0	・保護者様及び、相談支援員より提供された医療診断結果関係書類を基礎に支援を実施しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	9	0	・個別支援計画に基づいて、職員間で相談をして、活動を決めています。ミーティング等では、支援員一人ひとりが自由に意見を出し、支援の仕方や活動の進め方など、共通の目標を持って取り組むことを目指しています。	・日々のミーティングで、活動の振り返りと共に、活動計画を立案しています。また、プログラムがマンネリ化しないように、新しい取り組みの提案、検討をしていきます。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	0	・固定化した方がよい場合もあるので、個々に応じて対応・工夫しています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9	0	・一日の課題や計画を立てていますが、天候や利用児の状態により変更することがあります。目標設定をして準備をしますが、子どもたちの体調等を優先するため、適宜対応することが多いです。長期休暇の時はドライブ・施設見学等活動の場が異なる時もあります。	・支援時間前後の家庭や学校での過ごし方を確認のうえ、滞在時間に応じて活動内容を変えるなどを考慮しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9	0	・利用児の状況を見ながら個別活動の内容や時間を工夫・調整し支援しています。集団活動では目標を決めて取り組んでいます。子ども同士の相性関係性も考慮しながら進めています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	0	・その日の利用人数や職員配置、気を付けることを確認しています。また、子どもたちの様子についての情報交換を行っています。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 6 年 3 月 1 日

事業所名 こどもサポートセンター すてーじ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	0	・支援終了後に職員同士で情報を共有しています。翌日のミーティング及び職員間の申し送りを確認し、改めて前回の気付きや反省点を共有しています。	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	0	・日々の活動記録をつけています。毎日の支援内容や子どもたちの様子や気付きを記録しています。	・担当職員が記入するようにし、より細やかな記録を取るよう心がけています。記録する際には職員一人ひとりがしっかりと支援の振り返りを行い、それを次のステップアップや改善につなげていけるよう努めます。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	9	0	・担当学会議毎にモニタリングを行っています。 ・個別支援計画は前期後期と中間評価を行い、達成状況を確認したうえで終了評価までの支援を行います。 ・保護者さまからの要望や利用児本人の状況の変化によっては期間を待たずに柔軟に修正を行っています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	9	0	・創作活動として、季節に合う工作を行い、施設外では自然に触れ合う機会を設けています。 ・地域交流としての機会の提供として、立地を生かし普段から海岸や児童公園・図書館や体験施設など、地域に触れ合う機会を設けています。	・それぞれの専門性を活かし、職員間で共有しながら支援を進めていきたいと思います。
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	0	・開催されるときには児童発達支援管理責任者等の適任者が出席しています。	・児発管や担当者を含む保育士・児童指導員も参加させていただき、しっかりと連携が取れるよう努めます。
21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	9	0	・送迎時には学校の担任と情報共有を行っています。学校や保護者さまを通して、年間行事や下校時刻の一覧表をいただいています。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 6 年 3 月 1 日

事業所名 こどもサポートセンター すてーじ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者 との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	9		・医療的ケア児の受け入れが現在はありません。必要な場合には職員は障害や病気への理解に努め、緊急時の対応を保護者さまと確認し、安心して参加できるように体制を整えておきます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	9	0	・利用者さま本人に関する必要な情報は、現在担当される相談支援専門員を中心に情報共有を図るよう努めています。	・他事業所からも聞き取りを行う等して、情報把握に努めています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	9		・こうした移行事例は今のところありませんが、事例が生じた際には積極的な情報提供を行う予定です。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	5		・積極的に研修に参加していきます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3	6	・近隣公園で校区内の児童と一緒に遊ぶ機会があり、イベントや節分祭等参加しています。	・校区内外問わず、デイの子どもたちが楽しめるイベントには積極的に参加していきます。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している	0	9		・今後要請があれば積極的に参加する方針です。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	0	・送迎時に保護者さまと話をしたり電話連絡したりと、出来るだけ多くの時間を確保しています。その日の子どもたちの様子や気付きなど連絡ノートに記入しています。また、保護者さまからも家での様子や変化があったことなど伝えていただいております。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	6	3	・相談があった場合、経験談を話し保護者さまに安心していただけるよう対応しています。送迎時、子どもへの声掛けの工夫や接し方のアドバイスなど必要な時や要望のあった時に行っています。	・利用者さま毎に置かれた環境や障害の特性が大きく異なることから、家庭訪問等を通じて、個々の保護者さまに合った支援を行ってまいります。
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9	0	・ご利用開始時に説明を行っています。		

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 6 年 3 月 1 日

事業所名 こどもサポートセンター すてーじ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	0	・保護者さまからのご相談は随時受け付け、出来るだけ速やかに丁寧にを行うよう心がけています。送迎時に保護者さまからの悩みや相談があった時はその場で話を聞かせて頂いたり、その後職員間で相談をして必要な助言や支援の提供が出来るよう努めています。	・家庭訪問を行うなどして、相談対応の機会を増やしていきたいと思えます。保護者さまとの信頼関係を大切にし、些細なことでもご相談いただけるように努めていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	9		・来年度より、親子や兄弟で楽しめるイベントを計画してまいります。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	9	0	・苦情があった場合は、適切かつ誠実に対応します。苦情の原因と改善策を明確にし、職員に周知を図り教育します。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	9	0	・会報の発行はないものの、連絡帳や毎月おたよりを発行し、おさまの様子や行事等をお知らせしています。	
	35	個人情報に十分注意している	9	0	・利用者さまから受け取った個人情報は施錠できる書庫で厳重に管理しています。 ・利用者さまの個人情報にあたっては、利用目的を明確に説明し、「個人情報使用同意書」により許可を頂いています。	・新たな職員が仕事に就く場合、教育及び個人情報取り扱いについて誓約書の提出を必須とし、今後守秘義務の知識付与と意識付けの徹底を行っていきます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	0	・障害特性に応じたコミュニケーション方法を取り入れています。また、保護者さまとの情報伝達は電話だけでなく連絡ノートでのやりとりもさせて頂いています。	・今後は理学療法士など専門人材を配置して、より障がいの特性に応じたコミュニケーションを可能とする体制づくりに努めたいと思えます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	9		・来年度から、積極的に地域交流していきたいと思えますが、まずは、地域のイベントに参加することから始めていきたいと思えます。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 6 年 3 月 1 日

事業所名 こどもサポートセンター すてーじ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	9	0		・マニュアル策定し、職員間では周知していますが、全保護者さまへのお伝えが十分に出来ていないように思えます。各種マニュアルについては、デイ玄関に配置し、いつでも閲覧できる状態となっております。ご要望があれば説明させていただきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	0	・定期的に避難訓練を実施しています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	0	・職員が、虐待防止チェックリストを定期的実施しています。	・積極的に研修に参加し、全職員が危機意識を持ち、適切な行動を遂行できるように心掛けていきます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9	0	・興奮で他者への危険がある場合、職員とマンツーマンで個室で対応することがあります。身体拘束の必要性をご家族と確認し、児発管の判断のもと実施していきます。支援計画にも記載していきます。	・今後、身体拘束に関して職員が学びを深めていく機会を持ちます。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	0	・保護者さまよりアレルギーについての情報を頂き、それに基づいて対応しています。おやつ提供の際にアレルギーの有無を確認しています。	・食事提供がない為、医師の指示書の提出はないですが、活動に合わせて対応していきます。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	9	0	・事例があった際は速やかに報告書を作成し、職員間で共有・検証・改善まで繋げています。過去のヒヤリハット事例をすぐに確認できるようにしています。	・自己判断で「これくらいなら大丈夫」と過信せず小さいことでも大きな事故につながることを意識し、しっかりと報告・共有していきます。